特色 3

主権者として、ともに生きる力を育む教科書

1 社会的な課題を多面的・多角的に捉え、考察できる教材・内容

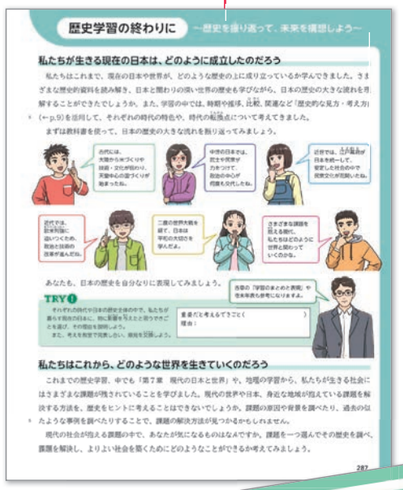
歴史で学んだことを、新たな視点から捉えなおして学習を深めます。自分たちで調べたり、話し合ったりする活動の中で、現代の視点から歴史を捉えなおし、公民の学習や自分たちの生活に接続していけるよう工夫しています。

歴史学習全体を振り返り、現在に生かす「歴史学習の終わりに」 p.287-289

歴史学習の最後には、現在と未来について考察・構想し表現する活動を位置づけました。現代社会の課題の例として、SDGsの17の目標も参考にしながら「男女平等」、「環境保護」、「国際協調」の三つのテーマを取り上げ、歴史的な観点から調べ、発表する生徒の姿を掲載しています。読むことで生徒が調査を追体験できる構成です。

「歴史学習全体を振り返り、現代社会の問題や自分の身近な話題につなげる」という生徒の自然な思考の流れを、丁寧に表現しています。

p.12-18（身近な地域の歴史）の調査と同じステップを踏むことで、調査の手法の定着を図ります。複数人で意見を出し合いながら、問いを立て、調査し、まとめて発表する**協働的な学び**の姿を、順を追ってわかりやすく掲載しています。



「地理的な見方・考え方」について
地理的な見方・考え方
地域の特色を考える
地域と地域のつながりを考える
地域の様子の移り変わりを考える
地域の課題を考える
地域の将来を考える
地域の様子を比べる
地域の様子を調べる
地域の様子を見る
地域の様子を見る
地域の様子を見る